

2021年12月15日(水)

### ① 国際政治学者 パラグ・カンナ氏

「中国の若い女性たちに聞くと、目標は北京での物件購入と話し、子どもを持つことが最優先事項ではないのだと感じる」

「経済の先行き不安と新型コロナ、気候変動の3要素が絡み、世界の出生率は破壊的低迷に向かうとみている。特に若い人たちはいま、子どもを持つべきでない、子どもが増えると地球に悪影響があるのではないか、とまで本気で考え始めているようだ」

### ② 自社株買い

岸田文雄首相が14日午前の衆院予算委員会で、自社株買いについて

「個々の企業の事情に配慮した対応、ガイドライン(指針)などは考えられないだろうかと思う」と話したと伝わった。

市場では

「金融所得課税に続き、市場にネガティブな政策を嗅ぎ取った短期筋が瞬発的に売りを出した」

「仮に自社株買いの自由度が下がるような制約ができれば相場にとってはマイナスで、警戒感が出ている(国内運用会社)との指摘があった。

米国では格差是正の狙いから経済対策の財源として自社株買い課税案が検討されている。日本は米国に比べて株主還元の規模は小さいものの、

「米国で規制が強まれば日本でも議論が本格化する可能性がある」

### ③ マザーズ指数

年初来安値を更新。

FOMCを巡っては政策金利予想で

「2022年の2~3回の利上げを見込むメンバーが予想以上に増え、市場に波乱が起きる可能性がある」底が抜けそうです I。

現在値	<b>993.77</b> ↓ (21/12/14 15:00)
前日比	-29.89 (-2.92%)



#### ④ Hong Kong ハンセン指数

底が抜けそうです II。

現在値 **23,635.95** ↑ (21/12/14 16:09 HKT)

前日比 -318.63 (-1.33%)



## ⑤ 米卸売物価指数 (PPI)

米卸売物価指数は前年同月比 **9.6%** 上昇と比較可能な 2010 年 11 月以降で最大の伸びとなった。前月比でも 0.8% 上昇と 10 月 (0.6% 上昇) から伸びが加速し、市場予想 (0.5% 上昇) も上回った。

市場では

「テーパリング (量的緩和の縮小) の加速を促す内容だ」

との声が聞かれ、FOMC への警戒感が強まった。

## ⑥ ラッセル 2000

底が抜けそうですⅢ。



## ⑦ 米国株式

ボラティリティが相変わらず高いですね。

Index	Value	% Change	Change	High	Low	Date
NYダウ	35,544.18	▼0.30%	-106.77	35,779.47	35,441.74	12/14
NASDAQ	15,237.64	▼1.14%	-175.64	15,317.55	15,097.35	12/14
NASDAQ100	15,914.90	▼1.04%	-167.65	15,995.21	15,742.80	12/14
S&P500	4,634.09	▼0.75%	-34.88	4,660.47	4,606.52	12/14

## ⑧ トルコリラ

7円台に。

底が抜けそうですIV。

